

PrimeSeat を楽しむ(31)
—オンデマンド DSD 配信—

1. 始めに

今回も、通常のオンデマンド DSD 配信の試聴です。

2. PrimeSeat 配信の試聴方法

試聴方法は、前報 (29) と同様のルート、すなわち下記で行います。

PC→UACU-700→Sonica DAC→ACCU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+
→ACCU-1000→P&G フェーダー→300B シングルアンプ

今回は、2019年9月22日に神奈川県立相模湖交流センターで開催されたビオラ・ファッシーション・シリーズの演奏の、DSD5.6MHz と PCM96kHz/24bit でのオンデマンド配信です。

配信期間：2019年11月8日(金)～2020年5月8日(金)

曲目は次のとおりです。

アレサンドロ・ローラ：ヴァイオリンとビオラのデュエット Op.13-3

後藤和子（ヴァイオリン）、小林秀子（ビオラ）

ボッケリーニ：弦楽五重奏曲 Op.11-5 ホ長調 G.275 -

シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D.956

演奏：ヤツェック・クリムキューヴィッチ、後藤和子（ヴァイオリン）、小林秀子（ビオラ）、ヨンチャン・チョー、マーティン・スタンツェライト（チェロ）





3. PrimeSeat 配信の試聴結果

ビオラの小林秀子を中心とする仲間の演奏会です。

ローラのヴァイオリンとビオラのデュエットは、初めて聴くものですが、しみじみとした内省的な曲で、ヴァイオリンとビオラの対話が聴きどころです。

ボッケリーニの弦楽五重奏曲は、軽快で楽しい曲で、特に第3楽章のメヌエットは浮き浮きするようなメロディがよく知られています。

シューベルトの弦楽五重奏曲は、抒情的で美しいメロディとシリアスな表現が交差して展開していきます。弦楽五重奏曲は、チェロが2台とビオラの構成ですので、弦楽四重奏曲より内声部が充実して落ち着いた雰囲気が楽しめます。

4. まとめ

5.6MHzDSD 音源のオンデマンド受信ができました。

以上